

「直使 神の願い」

神 示

「神魂の時代」に生きる

心の姿が分かっていようか

神の手の中

全ての運命が重なり 補い合う時代が今今日

よって 「道」の真理に悟りを深める人間は皆

生きがい多い人生を歩んでいる

なれど 知識を軸に 努力を頼って生きる人間は皆

人生に迷いを深める

信者に申す

直使が人類に与えた「希望の光」みち

その力を生かす心努力がほしい

家族で「教え」を学び

「真理」で関わる家庭を築く努力をする

自然と家族の心は一つに重なり

事故 災難のない家庭となる

神魂の時代に生きる人間の姿が ここにある

直使の願い――

「人生」四季を通し 常に心に「夢」がある

六つの花びらを咲かせる「夢」を

人生の支えに人人間が生きる

この願いをかなえて 今今日は神神魂

信者は 直使の愛を心素直に受け止めて

感謝心かんしゃこころで生きる時時代

「道」の真理に「生きる」努力が

「希望の光」みちを通し 開運人生を手に行ける

神魂の時代とは、開運がかなう誠にありがたい時代です。開運するには、神、仏、人の道の教えに沿って生きる心が必要です。神の道を軸に、仏の道、人の道を守って暮らすのです。

この世は、全て神の手の中です。それは、命の誕生、自然の変化をはじめ、人の及ぶ世界ではありません。そして、変化と安定を繰り返す中で、万物が重なり、補い合う、調和の取れた社会へと、時代が大きく変わりつつあります。

こうした環境に身を置く上で、道の真理、道理にかなう生き方を心掛けることが大切です。良さを生かすところに、生きがい多い人生が歩めます。

人生は、好き勝手に歩んでも、なかなかうまくいくものではありません。運命に重なる努力が不可欠です。ところが、現実には、知識、努力ばかり頼って生きるから、迷いを深める人が多いのです。

神は、直使が開いてくださった希望の光みちの力を生かすように、呼び掛けられています。それには、自分一人ではなく、

家族そろって教えを学び、和のある家庭を築く努力をします。そこに、各自の心が重なり、安泰な毎日が送れます。

神の教えどおりに生きれば、必ず人生が守られるのが、神魂の時代です。そこに求めるべきなのが、心の道がつながるように、家族が共に開運することです。

神魂の時代を迎えた今も、神は直使の願いを知るように促されています。直使の愛は、常に一人一人を見詰め、見守ってくださいています。その愛は、生涯を通して、生きがい、喜びを味わえるように、お導きくださっているのです。

仕合せの六つの花びらを求め、生きる力を与えてくださる直使の愛。今は神魂として、絶大な力でお守りくださっています。だからこそ、家族中で教えを身に付け、その愛に応えていくのです。

信者であるなら、直使の愛を素直に受け止め、感謝の心で生きましょう。神、仏、人の道を守って暮らすと努力する姿勢が、希望の光みちを通し、我が家の開運を確かなものにしていくのです。

「直使 神の願い」

神 示

神魂^{神魂}に思い預けて「生きる」人^{人間}は皆

「心」明るく 強くなる

「神魂の時代」に悟りを深める 人^{人間}の姿が ここにある

信者に申す

家族で「教え」を学び

「真理」で関わる家庭を築くべし

この思いが深まるほど

心^{人生}は「運命」に重なり

喜び^{時代}多いものへと導かれてゆく

今^{今日}を生きる社会^{人生}に 大きく欠けているものがある

分かるかや

精神世界の真実に気付けずに

ただ努力に頼って生きている

よって 真実の愛が芽吹かず 心^{感謝}を返す思^愛いも薄い

人^{人々}との出会いを軽んじてはいけない

精神世界に生きるほど 人^{人々}との縁が支えとなる

家族 縁者 友人 知人に

思^{感謝}いを返す心を欠いてはいけない

人間は一人で生きてはいない

多くの関わりの中で 互いに支え合って生きている

「道」の真理を貫く心は 感謝

その思いが

出会いを通して 「真実の愛」へと育つ

神^{神魂}の手中 「心^{運命}」に重なる人生を歩む人^{人間}は皆

「真実の愛」に生きている

何事も神の教えを基に考え、心、人生を祈願で神魂に預け、生きていると、何があっても気持ち不安定になることはありません。社会にあふれる知識に惑わされず、いつも明るく、強い心で暮らしていきます。

そのように心の動きが守られるのが、神魂の時代です。一人一人が安定した心で過ごしてほしいのが、神の願いです。そのためには、最も基本である家族で教えに触れ、正しい関わりが持てる家庭を築きましょう。教えを家庭生活に反映できれば、わがままを通すようなこともなく、何事もありがたいと、満たされた感覚で生きられます。

そこに、家族それぞれの運命の力が引き出されていきます。そして、人生は喜び多いものとなっていくはずですよ。

現代社会に大きく欠けたものがあります。それは、心を大切にする姿勢、精神世界を尊ぶ心です。

人に何かをしてもらえば、ありがたいと感じ、恩を返そうとするのが、当然の心^心の動きです。しかし、唯物世界に目が向きやすい現代は、心の大切さを見落としがちです。

人は、一人では生きられません。さまざまな人々と関わり、互いに支え合いながら生きています。

ですから、人との出会い、縁を軽んじてはいけません。心を大事にせず、見下げたり、傷つけたり、そのような生き方は絶対にあってはなりません。

精神世界を大切にすることで、多くの人との縁が人生を支える糧となります。家族、縁者、友人、知人と、感謝を返す思^心いを欠いてはいけません。

いつも心を尊重しましょう。何事にも感謝し、恩を返す思^心いを忘れないことです。心を大事にした生き方は、必ず自らの人生に返ってきます。

神、仏、人の道の教えの根底に流れるのは、感謝の心です。人の心を大切に、感謝を欠かなければ、奉仕の心、愛の心へと育っていきません。そして、運命に重なる最高の人生が歩めるのです。